

原料費調整制度に基づく2019年2月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、2018年9月から2018年11月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→		反映		
			→			反映	
			→				反映

○2019年2月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			2019年1月検針分	2019年2月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	772.20 円	200.16 円	201.91 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	874.80 円	190.86 円	192.61 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,925.64 円	181.72 円	183.47 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 38,910円/トン**

2018年9月から2018年11月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	63,310 円/トン(10円未満四捨五入)
2018年9月から2018年11月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	71,240 円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $63,310 \text{ 円/トン} \times 0.9771$ $+ 71,240 \text{ 円/トン} \times 0.0474$	65,240 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格 - 基準平均原料価格)	65,240 円 - 38,910 円 = <u>26,300 円/トン</u> (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.077 円
2019年2月分検針の調整額(1m ³ あたり)	$26,300 \text{ 円} \times 0.077 \text{ 円} \div 100 \times 1.08 =$ <u>21.87 円</u> (税込) (小数点第3位切り捨て)
2019年1月分検針の調整額(1m ³ あたり)	20.12 円(税込)
(2月分)対(1月分)増減(1m ³ あたり)	<u>+1.75 円(税込)</u>

2019年2月分の単位料金を1m³あたり +21.87円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2019年1月分料金	2019年2月分料金	影響額
20m ³	4,692円	4,727円	+35円